

75歳以上の医療費窓口負担2倍化に反対し、中止を求める**怒りのファックス**を
自民党・公明党の衆議院議員および立候補予定者などに送りましょう！

東京高齢期運動連絡会 会長 杉山文一

年金などで年収200万円でつつましく暮らす高齢者にさらに大きな負担を強制し、医療・治療を受けることを困難にする後期高齢者医療制度の窓口負担の2割への引き上げに高齢者は反対します。

まず、この東京で200万円でくらすことがいかに大変か、想像を絶するものがあります。様々な税金、後期高齢者医療制度の保険料、受診時一部負担、年金から天引きされる介護保険料、介護サービスを受ける際の利用料があります。75歳以上の高齢者も保険料以外に、平均で8万円もの受診時一部負担を支払わされているのです。先進国ではこのような過酷な制度はアメリカを除けばほとんどありません。また先進国では社会保障と位置付けられている住宅費も、日本では「甲斐性」として個人責任にされています。借家・賃貸住宅の場合、本当に大きな負担になっています。

年収200万円までを2割という基準を今後さらに引き下げることが政令でできるように決めています。この75歳以上の2割化の後には「全世代型社会保障」が待ち受け、国民全体の負担が増やされます。国の負担や大企業の負担はドンドン引き下げられ、国民の負担は40年間上げられっぱなしです。「自己責任」が強調され、現役や若者は「金縛り」状態です。ここは経験豊かな高齢者が、代表して、コロナ対策などで無策を連発し、無茶をやらかし、国民のいのちすら省みない菅首相や自民党・公明党に対し「勝手に決めるな！」と喝を入れなければなりません。

狂暴なファッショ政権になることが警戒された菅首相は国民の強い反発を受け、退路を断たれ、次の自民党総裁選には出馬しないとして、政権投げ出しを明言しました。大きな石は坂の上で食い止めなければ、転がり始めたら食い止めにくくなるもの。そういう意味では、国民の力が悪政を食い止めたと言えます。

自民党は看板を書き換え、政権延命を図っています。しかし、政策が明らかに変わるわけではありません。社会保障をめぐる政策は論議すらされていません。

この秋の衆議院選挙は、75歳以上の自己負担2割化を中止させ、だれもが安心して暮らせる社会をめざして国民の意思表示をするまたとない機会です。高齢者の渾身の怒りを政府にぶつけましょう。高齢者の怒りの声を記入して、3枚目のファックスを関係各所に送りましょう。75歳以上2割化を中止させる運動を広げましょう。

「敬老の日」など75歳以上医療費窓口負担2倍化中止を求める「怒りのファックス」送付の進め方

2021年9月18日 東京高齢期運動連絡会

目的： 75歳以上医療費窓口負担2倍化の中止を求める高齢者のナマの怒りの声を9月20日の「敬老の日」を中心に衆議院議員やマスコミ関係者に、ファックスで見える形で届けましょう。

いつ： 第1次 2021年9月19日～21日

第2次 9月23日～10月一杯（長野大会でもよびかけ、衆議院選挙に向け広げる）

だれが：各地の高齢期運動連絡会、加盟団体、関連団体（年金者組合、民医連、医療生協、友の会など）
さまざまな個人

対象は？だれに：

直接の対象：地元の自民党、公明党の衆議院議員、候補者（名簿別紙）を中心に

自民党総裁選の立候補者

公明党の本部・代表 山口那津男氏 Fax 03-3353-3281

田村憲久厚生労働大臣 Fax 03-3502-5066

日本維新の会 代表 松井一郎氏 Fax 06-4963-8801

国民民主党 代表 玉木雄一郎 Fax 03-3597-2823

活動を知らせ、激励するため

立憲民主党代表 枝野幸男氏 事務所 Fax 048-648-9125

議員事務所 Fax 03-3591-2249

日本共産党委員長 志位和夫氏 事務所 Fax 03-3508-3735

日本共産党本部 赤旗編集局 Fax 03-3350-1904

社会民主党 党首 福島瑞穂氏 Fax 03-6551-1111

れいわ新選組 代表 山本太郎氏 Fax 03-6384-1975

マスコミ関係

朝日新聞 東京本社 Fax 03-5540-7618

毎日新聞 愛読者センター Fax 03-3215-0723

読売新聞 読者センター 「気流」欄に投稿を

産経新聞 〒100-8077 読者サービス室に郵送を

東京新聞 東京本社 読者部 Fax 03-3595-6935

NHK Fax 03-5453-4000

テレビ朝日 報道ステーション Fax 03-3405-3422

日本テレビ 本社視聴センター Fax 03-6215-0444

TBS 本社報道局社会部 Fax 03-5571-2168

フジテレビ

送付文書は次のページです ⇒

75歳以上の医療費窓口負担2倍化の中止を求める **怒りのファックス！**

様

2021年 月 日

新型コロナが猛威をふるっています。感染者は160万人を超え、死亡者は1万7千人に及びます。デルタ株が蔓延し、感染者は劇的に増え、政府の専門家会議の人たちも「災害級」とか「制御不能」と言っています。このような状況は天災ではなく菅首相の失政が生んだ「人災」と言えます。さらに国民の願いを踏みにじてオリンピックやパラリンピックが強行しました。国民や野党が求めているにもかかわらず国会も開いていません。

このような状況の中、菅首相は国民の声に追い詰められ、政権を投げ出し、次の自民党総裁選に出馬できなくなりました。政府は国民のいのちとくらしをまもるために科学に則ったコロナ対策を進めなければなりません。

国民の命と暮らしの軽視の政策は「75歳以上の医療費窓口負担の2割化」も同様です。

私たちは2割化には反対です。コロナの陰で高齢者に知らせず、説明もせず菅首相と山口公明党代表がコソコソと話し合い、200万円で線引きし、1割を2割に引き上げることを決めました。高齢者は「そんな相談はうけてねえぞ！勝手に決めるな！」と卑劣なやり口に心底怒っています。趣旨をハッキリ説明されていれば、「ノー」と声を上げていました。

この20年以上、非正規労働者は増え続け、勤労者の収入も高齢者の年金も減りっぱなしです。社会保障制度は40年前の臨調答申以後、改悪され続け、国の負担は減らされ、国民負担は増やされ続けています。そして大企業の利益や内部留保は増え続けています。こんな不公正な社会に若者は展望を持てるでしょうか。

私たち高齢者は75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対します。命と暮らし、人権を無視した政治に強く抗議します。秋にも実施される衆議院選挙で、貴職も2割化に反対する態度を明確にして下さい。2割化を推進したり、2割化に反対しない場合、私たちは衆議院選挙で明確な意思表示をいたします。

東京高齢期運動連絡会 代表 杉山文一

わたしの意見、ねがい